

平成21・22年度 市立病院職員募集

募集職種・採用予定数 ①助産師・看護師 20人程度 ②医療ソーシャルワーカー 1人

受験資格 ①昭和44年4月2日以降に生まれ、該当する職種の免許を有する方、または平成21年度中に実施される国家試験により資格取得見込みの方 ②昭和50年4月2日以降に生まれ、社会福祉士の免許を有し、医療機関で実務経験2年以上の方

採用予定 ①合格者は採用候補者名簿に登録され、有資格者は平成22年2月以降、資格取得見込者は平成22年4月以降に欠員の状況に応じて正規採用。いずれも採用までの間は臨時職員として任用予定 ②合格者は

市立はなぞの幼稚園 入園児追加募集

募集対象・定員 ●満4歳児(平成17年4月2日～18年4月1日生まれ) ●満5歳児(平成16年4月2日～17年4月1日生まれ) いずれもまだ余裕があります

各年齢ごとに障がいがあると思われる幼児を数人募集

費用 ●入園時費用 入園料7千200円、制服代など9千円程度 ●毎月

採用候補者名簿に登録され、平成22年4月以降に正規採用

試験日・会場 12月6日(日) 市立病院

試験内容 ①小論文、面接 ②小論文、専門試験、面接

試験案内の配布 市立病院(郵送可)

提出書類 受験申込書、口述試験調査票のほか、①有資格者は免許の写し、資格取得見込み者は卒業(見込み)証明書と成績証明書、②社会福祉士免許の写し、実務経験届 受験申込書、口述試験調査票、実務経験届は指定用紙

申し込み詳細 11月20日(金)(土・日曜日、祝日を除く)までに必要書類を持参または郵送(必着)で 〒053 8567 清水町1丁目5番20号 市立病院経営管理課 (84) 0170

納入費用 保育料8千600円、教材費など 1千800円

保育時間 9時～13時30分(弁当持参) 通園には保護者などの送迎が必要

願書配布・場所 月・金曜日 いずれも9時～17時 はなぞの幼稚園、学校教育部総務企画課(第2庁舎1階)

受付・面接・詳細 はなぞの幼稚園 (73) 4760 http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/ (検索)

平成22年度樽前小学校に 入学・転入学する児童を募集

樽前小学校は区域外からの通学が特別に認められる特認校です。「少人数指導・豊かな自然・地域の人々との交流」という教育環境の中で子どもを学ばせてみませんか

募集対象・定員 ●新小学1年生 4～5人 ●新小学2年生 4～5人 ●新小学3年生 1～2人

保護者同伴による児童の面接があります。応募者多数の場合は抽選

条件 ●自宅から学校までの通学時間が1時間程度まで ●特認校の目的や教育内容から、心身に障がいのない児童

●通年通学ができる

登下校 錦西バスターミナルと学校間にスクールバスを運行

学校説明会・授業公開 11月7日(出) 9時30分～12時30分

学校見学会 11月2日(月)、13日(金) いずれも9時40分～11時55分

申し込み 11月30日(月)までに所定の応募用紙に記入し、樽前小学校まで

詳細 樽前小学校 (67) 3755 学校教育課 (32) 6742



はすかつぶ

苦小牧市長 岩倉博文

「道の駅」オープン

さわやかな秋晴れの10月1日、国道36号沿いのウトナイ湖畔に待望の道の駅「ウトナイ湖」(苦小牧市ウトナイ交流センター)がオープンしました。この施設は、新千歳空港の24時間運用に伴う地域振興策として実現を目指してきたものです。

この道の駅は、ゆったりとした休憩スペースや情報コーナーのほかに、新鮮な地元食材を活用した料理が味わえるレストラン、パン工房、農産物の直売などの「食」と、野鳥の聖域で全国的に知られるウトナイ湖の豊かな「自然」を満喫できる新たな魅力スポットとなっています。

10月1日に行われた開所式では、植苗・美沢地域をはじめ、完成を待ち望んでいた多くの市民とともに新施設の誕生を盛大にお祝うことができ、大変うれしく思っております。皆さんもぜひ、渡り鳥がウトナイ湖で羽を休めるように、この道の駅で美しい景色を眺め、おくつろぎください。

今後は、フェリーターミナルと新千歳空港に近い優れた交通アクセス、恵まれた自然環境にある道の駅「ウトナイ湖」の魅力、全道・全国に発信し、苦小牧の新しい観光拠点に育てていきたいと思っております。



「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の中に含まれるプラスチック類、例えば商品を包むラップやフィルム、カップなどの容器類、レジ袋などは、分けることでリサイクルすることができ、新しい商品として生まれ変わります。この限りある資源を有効に活用し、資源環境に配慮したまちづくりを進めるため、平成22年4月から毎週1回、プラスチックの資源回収を始めます。

来年4月から市内全域で プラスチックの収集がスタート!

限りある資源の再利用! プラスチックの分別にご協力ください

「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」の中に含まれるプラスチック類、例えば商品を包むラップやフィルム、カップなどの容器類、レジ袋などは、分けることでリサイクルすることができ、新しい商品として生まれ変わります。この限りある資源を有効に活用し、資源環境に配慮したまちづくりを進めるため、平成22年4月から毎週1回、プラスチックの資源回収を始めます。

生まれ変わるプラスチック

リサイクルされたプラスチックは、生まれ変わり、暮らしの中に戻ってきます

- 洗面器などの日用品
- ボールペンなどの文房具
- カラーコーンなどの建築資材
- 公園のベンチ、遊具など

このほか固形燃料化、油化、ガス化など、さまざまなものに活用されています

プラスチック製品の見分け方

- 商品を包む容器包装プラスチックの場合は、プラマークがついているもの
- プラマークがついていない「プラスチック単体の商品」も対象



プラスチックごみの出し方

- 中身を使いきり、軽くすすいだり、ふき取ったりして汚れを取り除く
- ボトルなどのキャップを取り外す
- プラスチックごみだけを、中身が見える透明・半透明の袋に入れて出す

プラスチックの収集や分別方法についての詳細は、来年3月に「ごみ分別事典(仮称)」を配布します

正しい分別に皆様のご理解とご協力をお願いします

行政改革推進懇話会からの提言

詳細 行政改革推進室 ☎32 6169

9月10日(木)に、苦小牧市行政改革推進懇話会(瀬尾清会長)から行政改革に関する提言書が提出されました。

今後、市ではこの提言を受けて新しい行政改革推進計画を策定していきます。

なお、提言書の概要は以下のとおりです。

提言書

- 今後の行政改革の在り方について -

- 今後の行政改革の方向性について 事務事業の継続的な見直し、民間委託の積極的な推進、公共施設の効率的活用など
- 行政改革の確実な推進に向けて 行政改革推進懇話会による進ちょく状況チェック、改革の見える化、分かりやすい情報提供、行政改革大綱と新しい行政改革推進計画
- 議会改革に向けて 議会運営全般にわたる見直しの推進

提言書は行政改革推進室、勇払・のぞみ出張所で配布しているほか、ホームページでも見ることができます。http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/で行政改革推進室(検索)

公費負担についての市民説明会とパブリックコメント

苦小牧市長選挙におけるピラの作成の公費負担について、市民説明会を開催するとともに、パブリックコメントを実施します

市民説明会

とき 11月10日(火) 10時30分～13時30分、18時30分～

いづれも1時間

ところ 市役所3階会議室 直接会場

パブリックコメント

募集期間 11月20日(金)まで

資料の閲覧・配布 選挙管理委員会事務局(市役所7階) ホームページ (http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/ から市民参加のページへ)

意見の提出 パブリックコメントと明記し、住所、氏名、電話番号、意見様式(自由)を記入し、直接または郵送(必着)、ファクス、Eメールで 〒053 8722 旭町4丁目5番6号 選挙管理委員会事務局 (34) 7110

☎senkan@city.tomakomai.hokkaido.jp

詳細 選挙管理委員会事務局 (32) 6764